

【 幼児教育学科 2023年度入学生 】

(1) 教育のねらいと目標

幼児教育学科では、乳幼児期の教育・福祉に関する幅広い専門性と、乳幼児の心に寄り添い豊かな関係を築く人間性を備え、高い実践力を有する保育者の育成をめざします。

① 保育に向かうための自分育てのプログラム

自分自身を理解し尊重する力と他者を理解し尊重する力を育てる

② 保育・乳幼児理解のためのプログラム

子どものより良い発達の援助者となるために1人ひとりの子どもを理解し、その内面を読み取る力を育てる

③ 保育実践をイメージするプログラム

環境を通しての保育を実現するために必要な専門的技術および豊かに表現する力を育てる

④ 自分の保育実践力を知り、次の課題を見つけるプログラム（実習プログラム）

実習体験を通して保育の営みを実感すると共に、自分に不足する力を確認し、次に向かう課題を明確化する力を育てる

(2) 各コースについて

2年次には、3つのコースのうち1つを選択して保育の専門性を追求します。

① あそびすとコース

子どもたちの健やかな発達と成長をサポートするための専門的な知識と技術を習得すると共に、保育者に求められる豊かな人間性を育む

② 障がい児支援コース

障がいを持つ子ども一人ひとりの発達の課題を捉えて援助する保育者をめざして、障がいに対する理解と知識を深め、専門的な技術を習得する

③ 子育て支援コース

子育て不安の解消など、子どもの健やかな成長を支えるため、保育者としての役割と子どもとその家族のあり方について学ぶ

(3) 卒業要件

本学の幼児教育学科を卒業するためには、次の条件を充たさなければなりません。

科目種別	単位数	必修科目
基礎科目	13単位以上	キリスト教概論 (2単位)
		基礎ゼミナール (2単位)
専門科目	53単位以上	専門ゼミナール (2単位)
		保育原理 (2単位)
		教育原理 (2単位)
		保育内容総論 (1単位)
		保育基礎講座Ⅲ (1単位)
計	66単位以上	

(4) 免許及び資格について

幼児教育学科において取得できる免許資格は次の通りです。

幼稚園教諭二種免許状
保育士資格
児童厚生二級指導員
認定ベビーシッター
社会福祉主事任用資格
レクリエーション・インストラクター資格
認定あそび実技指導士
認定発達支援士（インクルーシブサポーター）
認定キッズフードマイスター

これらの免許等を取得するには卒業必修とは別に取得しなければならない科目があります。カリキュラム表やオリエンテーションでの説明に注意し、間違えないように履修して下さい。なお、「児童厚生二級指導員」「認定ベビーシッター」及び「レクリエーション・インストラクター」の関連科目を履修するには別途履修料等が必要です。詳細は、オリエンテーションで指示します。

(5) 実習について

前頁の資格を取得するためには、各種実習を履修し、単位を修得しなければなりません。本学では「将来、教員（保育士）としての望ましい素質をもつと認められた者」にのみ実習への参加を認めています。

ここでは、実習に参加できるため次の必須条件を掲げて、平常から真剣な学習を強く希望します。

【実習参加の必須条件】

- ① 所定の期日までに、実習に関する諸手続き（書類の提出等）が完了していること。
- ② 実習費が所定の期日までに納められていること。
- ③ 心身ともに、実習に支障がない状態であること。
 - ・健康状況の申告・抗体検査の実施及び結果の申告を行う。
 - ・細菌検査を完了していること。
 - ・実習先からの依頼などで必要な場合は予防接種を行う。
- ④ 各実習について、「実習に関する履修条件」を満たしていること。※「第4章 免許・資格について」を参照。
- ⑤ 実習先における評価の総合所見の内容によっては、再実習が認められないことがある。

【教育実習に関する履修条件】

実習科目	履 修 条 件
幼稚園教育実習Ⅰ	(1)「幼稚園教育実習事前・事後指導Ⅰ」の授業時間数のうち、幼稚園教育実習Ⅰが実施されるまでの履修期間の授業に5分の4以上出席していること。 (2)1年前期に配当されている幼稚園教諭免許状取得に必要な専門科目（必修科目）について単位を修得していること。
幼稚園教育実習Ⅱ	(1)1年次の「幼稚園教育実習Ⅰ」を終えていること。 (2)「幼稚園教育実習事前・事後指導Ⅱ」の授業時間数のうち、幼稚園教育実習Ⅱが実施されるまでの履修期間の授業に5分の4以上出席していること。 (3)1年次に配当されている幼稚園教諭免許状取得に必要な専門科目（必修科目）について単位を修得していること。

【 保育実習Ⅰ～Ⅲに関する履修条件 】

実 習 科 目		履 修 条 件
開講時期変更に合わせて	保育実習ⅠB（施設）	(1)「保育実習事前・事後指導ⅠB」の授業時間数のうち、保育実習ⅠBが実施されるまでの履修期間の授業に5分の4以上出席していること。 (2)1年前期に配当されている保育士資格取得に必要な専門科目（必修科目）について単位を修得していること。
	保育実習ⅠA（保育所）	(1)「保育実習事前・事後指導ⅠA」の授業時間数のうち、保育実習ⅠAが実施されるまでの履修期間の授業に5分の4以上出席していること。 (2)1年次に配当されている保育士資格取得に必要な専門科目（必修科目）について単位を修得していること。
	保育実習Ⅱ（保育所）	(1)「保育実習事前・事後指導Ⅱ」の授業時間数のうち、保育実習Ⅱが実施されるまでの履修期間の授業に5分の4以上出席していること。 (2)保育実習ⅠA・ⅠBの科目の単位を修得していること。 (3)2年前期に配当されている保育士資格取得に必要な専門科目（必修科目）については単位を修得していること。
	保育実習Ⅲ（施設）	(1)「保育実習事前・事後指導Ⅲ」の授業時間数のうち、保育実習Ⅲが実施されるまでの履修期間の授業に5分の4以上出席していること。 (2)保育実習ⅠA・ⅠBの科目の単位を修得していること。 (3)2年前期に配当されている保育士資格取得に必要な専門科目（必修科目）については単位を修得していること。

【 児童厚生二級指導員資格を取得する場合の保育実習Ⅲに関する履修条件 】

実習科目	履 修 条 件
保育実習Ⅲ （施設のうち、 児童館で実習）	(1)保育実習ⅠA・ⅠB及び「児童館の機能と運営」の科目の単位を取得していること。 (2)「保育実習事前・事後指導Ⅲ」の授業時間数のうち、保育実習Ⅲが実施されるまでの履修期間の授業に5分の4以上出席していること。 (3)2年前期に配当されている保育士資格取得に必要な専門科目（必修科目）については単位を修得していること。

※1年次に児童館でボランティアもしくはアルバイトの経験をする事。

※ボランティアもしくはアルバイトをした場合は、所定の用紙に、その児童館の証明（署名など）、体験した内容や感想などを記入して提出すること。

【 全実習における事前事後指導単位取得条件 】

幼稚園教育実習事前・事後指導Ⅰ・Ⅱ、保育実習事前・事後指導ⅠA・ⅠB・Ⅱ・Ⅲの授業時間数のうち、授業に5分の4以上出席していること。

(6) 中部学院大学への編入について

幼児教育学科からは、併設する中部学院大学への3年次編入が可能です。

この編入について、中部学院大学では単位認定制度を設けています。これは、短大で修得した科目の単位を大学の卒業単位として認めるもので、編入後に修得すべき科目数を軽減し、無理なく資格の取得などができるよう配慮しています。

この単位認定は、大学を卒業するための卒業必修科目についても行われます。ただし、認定はそれまでにみなさんが修得した科目のうち、大学で開講される科目と類似した科目の場合にのみ可能です。つまり、中部学院大学の卒業必修科目に類似した科目を短大時代に修得しておけば、編入後の負担が少なくなるということです。

下記の表は、中部学院大学卒業必修科目のうち、みなさんが短大で修得でき編入する際に単位認定される可能性が高い科目との照らし合わせをした表です。編入を考えている方は、なるべく短大時代にこれらの科目を修得されることをお勧めします。

<人間福祉学部へ編入する場合>

中部学院大学 卒業必修科目	中部学院大学短期大学部開講科目 (認定される可能性が高い科目)
キリスト教概論Ⅰ	キリスト教概論
言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)
言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)
人間福祉入門	(該当科目がないため編入後に修得します。)
人間福祉基礎演習Ⅰ	基礎ゼミナール
人間福祉基礎演習Ⅱ	専門ゼミナール
人間福祉専門演習Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
人間福祉専門演習Ⅱ	

<教育学部へ編入する場合> (幼稚園教諭・保育士コース)

中部学院大学 卒業必修科目	中部学院大学短期大学部開講科目 (認定される可能性が高い科目)
キリスト教概論Ⅰ	キリスト教概論
情報活用論Ⅰ	情報活用論
スポーツ科学論	スポーツ科学論
身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)	身体による表現活動(スポーツ実技)
言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)
言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)
日本国憲法Ⅰ	日本国憲法
教職入門	教職概論
教育原理	教育原理
子ども教育学基礎演習ⅠA	基礎ゼミナール
子ども教育学基礎演習ⅠB	
子ども教育学基礎演習ⅡA	地域総合演習 / 専門ゼミナール
子ども教育学基礎演習ⅡB	

中部学院大学 卒業必修科目	中部学院大学短期大学部開講科目 (認定される可能性が高い科目)
音楽A	音楽A
音楽B	音楽B
幼児と健康	幼児と健康
幼児と人間関係	幼児と人間関係
幼児と環境	(該当科目がないため編入後に修得します。)
幼児と言葉	幼児と言葉
幼児と表現	幼児と表現
保育内容総論	保育内容総論
保育内容(健康)Ⅰ	保育内容(健康)
保育内容(人間関係)Ⅰ	保育内容(人間関係)
保育内容(環境)Ⅰ	保育内容(環境)
保育内容(言葉)Ⅰ	保育内容(言葉)
保育内容(音楽表現)Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
保育内容(造形表現)Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
小学校英語	(該当科目がないため編入後に修得します。)
幼保小中連携英語演習	(該当科目がないため編入後に修得します。)
子ども教育学専門演習Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
子ども教育学専門演習Ⅱ	(該当科目がないため編入後に修得します。)

<教育学部へ編入する場合> (小学校・中学校教諭コース)

中部学院大学 卒業必修科目	中部学院大学短期大学部開講科目 (認定される可能性が高い科目)
キリスト教概論Ⅰ	キリスト教概論
情報活用論Ⅰ	情報活用論
スポーツ科学論	スポーツ科学論
身体による表現活動Ⅰ(スポーツ実技)	身体による表現活動(スポーツ実技)
言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-1(コミュニケーション英語)
言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)	言語による表現活動Ⅰ-2(コミュニケーション英語)
日本国憲法Ⅰ	日本国憲法
教職入門	教職概論
教育原理	教育原理
子ども教育学基礎演習ⅠA	基礎ゼミナール
子ども教育学基礎演習ⅠB	
子ども教育学基礎演習ⅡA	地域総合演習 / 専門ゼミナール
子ども教育学基礎演習ⅡB	
教育心理学	教育心理学
教育行政学	教育社会学

中部学院大学 卒業必修科目	中部学院大学短期大学部開講科目 (認定される可能性が高い科目)
教育相談	教育相談
特別支援教育論	特別支援教育論
音楽A	音楽A
音楽B	音楽B
図画工作	(該当科目がないため編入後に修得します。)
体育	(該当科目がないため編入後に修得します。)
生活	(該当科目がないため編入後に修得します。)
日本語表現法(書写を含む)	(該当科目がないため編入後に修得します。)
社会	(該当科目がないため編入後に修得します。)
算数	(該当科目がないため編入後に修得します。)
理科	(該当科目がないため編入後に修得します。)
家庭	(該当科目がないため編入後に修得します。)
小学校英語	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語学概論Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語学概論Ⅱ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語音声学	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英文法論Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語文学概論	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語文学史	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語コミュニケーションⅠ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語コミュニケーションⅡ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
異文化理解Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
異文化理解Ⅱ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語科教育法A	(該当科目がないため編入後に修得します。)
英語科教育法B	(該当科目がないため編入後に修得します。)
小中連携英語概論	(該当科目がないため編入後に修得します。)
幼保小中連携英語演習	(該当科目がないため編入後に修得します。)
子ども教育学専門演習Ⅰ	(該当科目がないため編入後に修得します。)
子ども教育学専門演習Ⅱ	(該当科目がないため編入後に修得します。)

基礎科目（幼児教育学科）

領域	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナシ シリアル	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				保育士	幼稚園 免許	備考	
											1年次		2年次					
											前期	後期	前期	後期				
人間と 社会	1	1	1	2	1	1	0	1	2	講義	◎				◎			
	1	1	1	2	1	1	1	4	2	講義		○		○				
	1	1	1	2	1	1	1	5	2	講義		○		○				
社会と 文化	1	1	2	2	1	1	1	6	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	1	7	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	1	8	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	1	9	2	講義		○		○				
	1	1	2	2	1	1	2	0	2	講義	○	○	○	○	○※1			
	1	1	2	2	1	1	0	9	2	講義	○	○	○	○	○※1	◎		
	1	1	2	2	1	1	3	7	2	講義								
	1	1	2	2	1	1	2	1	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	2	2	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	0	3	2	講義	○		○		○※1	◎		
	1	1	2	2	1	1	2	3	2	講義		○		○				
	1	1	2	2	1	1	2	4	2	講義	○	○	○	○	○※1			
	1	1	2	2	1	1	2	5	2	講義		○		○				
	1	1	2	2	1	1	2	6	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	2	7	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	2	8	2	講義	○		○					
	1	1	2	2	1	1	2	9	2	講義	○		○					
1	1	2	2	1	1	3	0	2	講義		○		○					
1	1	2	2	1	1	3	1	2	講義	○		○						
1	1	2	2	1	1	3	6	2	講義	高大連携単位互換科目								
自然の 理解	1	1	3	2	1	1	3	2	2	講義	○		○					
	1	1	3	2	1	1	0	0	2	講義	○	○	○	○	○※1			
健康・ホ ー科学	1	1	4	2	1	1	0	8	2	講義	○	○	○	○	◎	◎		
	1	1	4	2	3	1	0	2	1	実技	○	○	○	○	◎	◎		
言語と 文化	1	1	5	2	2	1	0	4	1	演習	○				○	同一 外国 2単 位以 上		
	1	1	5	2	2	1	1	1	1	演習		○			○			
	1	1	5	2	2	2	3	3	1	演習			○					
	1	1	5	2	2	2	3	4	1	演習				○				
	1	1	5	2	2	1	0	5	1	演習	○				○			
	1	1	5	2	2	1	1	2	1	演習		○			○			
	1	1	5	2	2	1	0	6	1	演習	○				○			
	1	1	5	2	2	1	1	3	1	演習		○			○			
	1	1	5	2	2	1	3	5	2	演習	○		○					CAP対象外
	1	1	5	2	2	1	3	6	2	演習	○							CAP対象外
1	1	5	2	2	1	3	7	4	演習	○						CAP対象外		
基礎演習	1	1	6	2	2	1	0	7	2	演習	◎							

※「ボランティア実践論」は不定期開講

1. 履修上の注意

- 1) 基礎科目より13単位以上修得すること。
- 2) ◎は必修科目、○は選択科目を表す。
- 3) ◎(必修)は、卒業や資格取得のために必ず修得しなければならない単位である。
- 4) 保育士を希望する者は、言語と文化領域欄の外国語の内、同一外国語2単位以上を選択必修、また、※1のなかから2科目以上修得すること。
- 5) ☆は、大学・短大部共通科目を示す。

2. 大学との共通科目について

中部学院大学と中部学院大学短期大学部の両学生は、一部の授業科目を共に受講することができます。それらの科目を、「共通科目」と呼びます（開講科目表の☆印参照）。共通科目の授業科目名は、大学・短大部で若干違うことがあります。時間割・授業科目コード表などでは、大学の科目名で表記されていますので、下記の表をもとに短大部の科目名と読み替えて対応して下さい。

なお、共通科目でも受講者数の関係で学科やクラスなどが限定されている科目があります。時間割を確認し、各自設定された時間に受講して下さい。

短期大学部科目名	単位数	大 学 科 目 名	単位数
キリスト教概論	2	キリスト教概論 I	2
情報活用論	2	情報活用論 I	2
身体による表現活動(スポーツ実技)	1	身体による表現活動 I (スポーツ実技)	1
日本国憲法	2	日本国憲法 I	2
法学	2	法学 I	2

専門科目

科目群	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	シラバール ナンバール	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				保育士	幼稚園 免許	備考
											1年次		2年次				
											前期	後期	前期	後期			
専門科目	1	1	1	3	1	1	05	保育原理	2	講義		◎			◎		
	1	1	1	3	1	1	02	教育原理	2	講義	◎				◎	◎	
	1	1	1	3	1	1	04	子ども家庭福祉	2	講義		◎			◎		
	1	1	1	3	1	1	03	社会福祉	2	講義	◎				◎		
	1	1	1	4	1	2	09	子ども家庭支援論	2	講義			◎		◎		
	1	1	1	4	1	1	06	社会的養護Ⅰ	2	講義		◎			◎		
	1	1	1	3	1	1	01	教職概論	2	講義		◎			◎	◎	
	1	1	2	3	1	1	01	保育の心理学	2	講義	◎				◎		
	1	1	2	4	1	1	03	子ども家庭支援の心理学	2	講義		◎			◎		
	1	1	2	4	1	1	02	子どもの保健	2	講義	◎				◎		
	1	1	3	4	2	2	15	子どもの健康と安全	1	演習			◎		◎		
	1	1	2	4	2	2	05	子どもの食と栄養A	1	演習			◎		◎		
	1	1	2	4	2	2	08	子どもの食と栄養B	1	演習			◎		◎		
	1	1	2	4	1	2	10	特別支援教育論	1	講義			◎		◎	◎	
	1	1	3	3	1	1	03	保育・教育課程論	2	講義		◎			◎	◎	
	1	1	3	4	2	1	01	保育内容総論	1	演習	◎				◎	◎	
	1	1	3	4	2	1	04	保育内容(健康)	1	演習			◎		◎	◎	
	1	1	3	4	2	2	13	保育内容(人間関係)	1	演習			◎		◎	◎	
	1	1	3	4	2	2	18	保育内容(環境)	1	演習			◎		◎	◎	
	1	1	3	4	2	1	05	保育内容(言葉)	1	演習	◎				◎	◎	
	1	1	3	4	2	1	02	保育内容(表現)	1	演習			◎		◎	◎	
	1	1	3	3	2	2	1	幼児と健康	1	演習	◎				◎	◎	
	1	1	3	3	2	1	20	幼児と人間関係	1	演習	◎				◎	◎	
	1	1	3	3	2	1	22	幼児と言葉	1	演習	◎				◎	◎	
	1	1	3	3	2	2	14	幼児と表現	1	演習		◎			◎	◎	
	1	1	3	4	1	1	07	乳児保育Ⅰ	2	講義		◎			◎		
	1	1	3	4	2	2	12	乳児保育Ⅱ	1	演習			◎		◎		
	1	1	3	4	2	1	08	障害児保育	2	演習		◎			◎		
	1	1	3	4	2	2	11	社会的養護Ⅱ	1	演習			◎		◎		
	1	1	3	4	2	2	17	子育て支援	1	演習			◎		◎		
	1	1	4	5	2	1	01	音楽A	1	演習	◎				◎		
	1	1	4	5	2	1	04	音楽B	1	演習		◎			◎		
1	1	1	4	1	2	07	教育社会学	2	講義			◎		◎	◎		
1	1	2	4	1	2	04	教育心理学	2	講義			◎		◎	◎		
1	1	3	4	1	2	09	教育方法論	2	講義			◎		◎	◎		
1	1	2	4	1	2	06	幼児理解の理論と方法	1	演習			◎		◎	◎		
1	1	2	4	1	2	09	教育相談	2	講義			◎		◎	◎		

科目群	学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	シリアルナンバー	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				保育士	幼稚園免許	備考
											1年次		2年次				
											前期	後期	前期	後期			
専門科目	1	1	3	5	2	2	1	6	総合表現活動A	2	演習			○	◎		
	1	1	3	5	2	2	2	3	総合表現活動B	2	演習			○	◎		
	1	1	1	4	2	2	0	8	キリスト教保育	1	演習			○	○		
	1	1	5	5	2	2	0	6	保育実習事前・事後指導ⅠA	1	演習			○	◎		
	1	1	5	5	2	1	0	2	保育実習事前・事後指導ⅠB	1	演習	○			◎		
	1	1	5	5	2	2	0	8	保育実習事前・事後指導Ⅱ	1	演習			○	○※1		
	1	1	5	5	2	2	0	9	保育実習事前・事後指導Ⅲ	1	演習			○	○※1		
	1	1	5	5	4	2	0	7	保育実習ⅠA(保育所)	2	実習			○	◎		
	1	1	5	5	4	1	0	3	保育実習ⅠB(施設)	2	実習	○			◎		
	1	1	5	5	4	2	1	2	保育実習Ⅱ(保育所)	2	実習			○	○※2		
	1	1	5	5	4	2	1	3	保育実習Ⅲ(施設)	2	実習			○	○※2		
	1	1	5	5	4	1	0	4	幼稚園教育実習Ⅰ	2	実習	○			◎		
	1	1	5	5	4	2	1	1	幼稚園教育実習Ⅱ	2	演習			○	◎		
	1	1	5	5	2	1	0	1	幼稚園教育実習事前・事後指導Ⅰ	1	演習	○			◎		
	1	1	5	5	2	2	1	0	幼稚園教育実習事前・事後指導Ⅱ	1	演習			○	◎		
	1	1	5	5	2	2	1	4	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	演習			○	◎	◎	
	1	1	5	5	2	2	0	5	専門ゼミナール	2	演習			◎			
	1	1	5	5	2	2	1	0	保育基礎講座Ⅰ	1	演習	○					
	1	1	5	5	2	2	1	1	保育基礎講座Ⅱ	1	演習		○				
	1	1	5	5	2	2	1	2	保育基礎講座Ⅲ	1	演習			◎		履修条件あり	
2	1	5	5	4	3	0	1	職業体験Ⅰ	2	実習			○		有給インターシップ*		
2	1	5	5	4	3	0	2	職業体験Ⅱ	2	実習			○				
2	1	5	5	4	3	0	3	職業体験Ⅲ	2	実習			○				
卒業要件 (最低必要単位数)									専門科目				53				
									基礎科目				13				
									合計				66				

- ◎は必修科目、○は選択科目を表す。
 - ◎(必修)は、卒業や資格取得のために必ず修得しなければならない単位である。
 - 保育士資格及び幼稚園教諭免許状を取得するには、カリキュラム表に表記された必修科目及び選択科目(選択科目の詳細は、履修要項の「資格・免許について」を参照)を修得しなければならない。
 - 保育基礎講座Ⅲを受講するためには、「保育基礎講座Ⅰ」「保育基礎講座Ⅱ」を履修する必要がある。但し、「全国高等学校家庭科保育技術検定1級」取得者については、「保育基礎講座Ⅰ」を履修しなくてもよい。
- ※1 保育実習事前・事後指導Ⅱ・Ⅲは、いずれかの科目を選択します。保育士資格を取得するには選択した科目が必修科目となります。
- ※2 保育実習Ⅱ(保育所)・Ⅲ(施設)は、いずれかの科目(実習)を選択します。保育士資格を取得するには、選択した科目が必修科目となります。

5. 社会福祉主事任用資格を取得するには、卒業を前提とし、さらに、次の科目の中から3科目以上を履修し、単位を修得しなければならない。

授 業 科 目
社会学
心理学
法学
経済学
社会福祉
保育原理
子ども家庭福祉

6. 児童厚生二級指導員の資格を取得するには、保育士資格の取得を前提とし、さらに、次の科目の単位を修得しなければならない。なお、保育実習Ⅱ・Ⅲについては、保育実習Ⅲ（施設（児童館））を履修し、修得すること。

学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンバール	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				児童厚生員	
										1年次		2年次			
										前期	後期	前期	後期		
1	1	6	5	1	2	0	1	児童館の機能と運営	2	講義			○		◎
1	1	6	5	1	2	0	3	児童館の活動内容と指導法	2	講義				○	◎

7. 認定ベビーシッターの資格を取得するには、保育士資格の取得を前提とし、さらに、次の科目の単位を修得しなければならない。

学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンバール	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				ベビーシッター	
										1年次		2年次			
										前期	後期	前期	後期		
1	1	6	5	1	2	0	4	在宅保育論	2	講義				○	◎

8. レクリエーション・インストラクター資格を取得するには、保育士資格の取得を前提とし、さらに次の科目の単位を修得しなければならない。

学科	履修コース	領域	水準	授業形態	履修学年	ナンバール	授業科目	単位数	授業形態	配当学期				レクリエーション・インストラクター	
										1年次		2年次			
										前期	後期	前期	後期		
1	1	6	5	1	2	0	2	レクリエーション論	2	講義			○		◎

幼児教育学科で学習する科目の構成について

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
	保育の基礎力を育成する		保育の専門性を深める	
学びの基礎になる科目	キリスト教概論 ●▲ 身体による表現活動Ⅱ(表現) ●▲ スポーツ科学論 ○▲ 日本国憲法 ○▲ 情報活用論 ○△ 言語による表現活動Ⅰ-Ⅰ/Ⅱ/Ⅲ (いずれか1科目を必修) 基礎ゼミナール			
保育の本質・目的	● 社会福祉 ●▲ 教職概論 ●▲ 教育原理 ● 保育原理 ● 子ども家庭福祉 ● 社会的養護Ⅰ ○ キリスト教保育 ○△ 教育社会学 ● 子ども家庭支援論			
保育の対象の理解	● 保育の心理学 ● 子ども家庭支援の心理学 ● 子どもの食と栄養A ● 子どもの理解と援助 ● 子どもの保健 ●▲ 幼児理解の理論と方法 ●▲ 教育相談 ○▲ 特別支援教育論 ○▲ 教育心理学 ● 子どもの食と栄養B			
保育の内容・方法	●▲ 保育内容総論 ●▲ 保育・教育課程論 ●▲ 保育内容(健康) ●▲ 保育内容(環境) ●▲ 幼児と言葉 ●▲ 幼児と健康 ●▲ 保育内容(人間関係) ○▲ 総合表現活動B ●▲ 幼児と人間関係 ●▲ 幼児と表現 ●▲ 保育内容(表現) ●▲ 保育方法論 ●▲ 保育内容(言葉) ● 子育て支援 ● 社会的養護Ⅱ ● 乳児保育Ⅱ ● 乳児保育Ⅰ ○▲ 総合表現活動A ● 障害児保育 ● 子どもの健康と安全			
保育の表現技術	○ 音楽A ○ 音楽B			
総合的な科目	保育基礎講座Ⅰ 保育基礎講座Ⅱ 専門ゼミナール あそびすと／障がい児支援／子育て支援 保育基礎講座Ⅲ ● 保育実習事前・事後指導ⅠB ● 保育実習ⅠA(保育所) ○ 保育実習事前・事後指導Ⅱ ○ 保育実習Ⅱ(保育所) ○ 保育実習事前・事後指導Ⅲ ○ 保育実習Ⅲ(施設) ▲ 幼稚園教育実習事前・事後指導Ⅰ ▲ 幼稚園教育実習Ⅰ ▲ 幼稚園教育実習Ⅱ ●▲ 保育・教職実践演習(幼稚園)			
あそびすとコース	○ 専門ゼミナール(再掲)			
障がい児支援コース	○ 専門ゼミナール(再掲)			
子育て支援コース	○ 専門ゼミナール(再掲)			
児童厚生二級指導員	■ 児童館の活動内容と指導法			
認定ベビーシッター	■ 児童館の機能と運営			
レクリエーションインストラクター	■ 在宅保育論			
	■ レクリエーション論			

科目の前に印がないのは卒業必修科目

●：保育士資格必修科目

▲：幼稚園教諭免許必修科目

○：保育士資格選択科目

△：幼稚園教諭選択科目

■：各種資格関連科目